

消費生活センター

オンラインバンキングの利用に注意

消費生活センターに相談のあった事例をもとに、トラブルへの対応を紹介します。



相談

子どもがスマートフォンでオンラインゲームを行い、知らないうちに課金が7万円になっていた。子どもに確認すると、「利用したが高額になると思わなかった」と言っている。どう対処すればよいか。

回答

無料で遊べるオンラインゲームのアプリでは、ゲームに夢中になり、お金を払うという意識がないままアイテムの購入を繰り返した結果、高額な請求になってしまったという相談が寄せられています。

今回は、お子さんからも話を聞いた結果、事業者に申し出るなどの助言を行いました。しかし、必ず解決できるとは限りませんので、利用の前に注意することが必要です。

子どものスマートフォンの利用については、事前に家族で話し合っておき、ルールを決めておきましょう。利用者の年齢を入力すると、利用が制限されるしくみもあります。

子どもがどのようにゲームを利用しているか、ぜひ注意を払ってみてください。

☆詳しくは、消費生活センター ☎544-93399へ。



市民のひろば

市民のグループ活動などを掲載しています(政治・宗教・営利活動などを除く)。なお、会員募集は入会金を掲載していません。

掲載希望は、市役所広報係へ。

【催し】の掲載申し込みの締め切り日

4月1日号=3月1日(金)

4月15日号=3月15日(金)

会員募集

●エンゼルス(ソフトボール)

日曜日の午前8時から美ノ宮公園で。45歳以上の方を対象。見学・体験あり。年5000円。松浦 ☎080-6586-6841

●昭島ボクシングクラブ

日曜日(月4回)の午後5時から総合スポーツセンターで。小学生以上の方を対象。初心者歓迎。見学・体験あり。月3000円。松島 ☎090-4738-9740



官公署 だより

■消防少年団員を募集「昭島消防署」

月1回程度(土曜日または日曜日)、団体行動や奉仕活動を行い、思いやりのある心と防火防災の知識・技術を身につける。小・中学生を対象。詳しくは、同署警防課へ問い合わせのうえ、3月

15日までに要申込。同署 ☎545-0119

■立川市新清掃工場整備に向けた不発弾調査・樹木伐採の説明会「立川市新清掃工場準備室」 2月23日の午前10時から昭島市立富士見会館で。建設用地である立川基地跡地で立川市が行う調査などについて、周辺住民の方を対象に説明。定員50人(先着順)。申込不要。同室 ☎042-523-2122

■春の火災予防運動特別企画「立川防災館」 2月23日～3月6日に同施設で。平成30年中に都内で発生した火災の状況などをパネルで展示。小学生以下のお子さんに消防自動車などの塗り絵の配布も。参加費無料。申込不要。同施設 ☎042-521-1119

■あきしま町あるき～今の給食どんな感じ?食育・防災・エコを学ぶ～「昭島観光まちづくり協会」 3月7日の午前9時30分～午後3時。福生市観光案内所「くるみるふっさ」との合同開催。拝島駅に集合し、福生市防災食育センター、昭島市環境コミュニケーションセンターを見学(昭島駅解散/約6km)。学校給食の試食あり。定員30人(多数抽選)。参加費600円(昼食代・保険料)。住所・氏名・年齢・電話番号・ファックス番号を記入し、2月27日までにファックス519-2144へ。同協会 ☎519-2114

■市民公開講座「国立病院機構災害医療センター」 3月14日の午後2時～4時に同センター(立川市)で。「肺がん～最近の診断と治療法の進歩～」

をテーマに医師が講演。参加費無料。申込不要。同センター管理課 ☎042-526-5511(平日昼間)

■放送大学4月入学生を募集「放送大学東京多摩学習センター」

テレビ放送やインターネットで、心理学・福祉・経済・歴史・文学・自然科学などの分野を学べる通信制の大学。働きながら大学を卒業したい方のほか、自己啓発などのため興味のある科目だけを学ぶ方も可。資料送付(無料)を希望する方は、同センターに問い合わせるか、放送大学ホームページで。同センター ☎042-349-3467

社会福祉協議会・ボランティアセンター (あいぽっく内) ☎544-0388

■ファミリー・サポート・センター説明会 利用会員(子育ての手助けが必要な方)の依頼に応じ、協力会員(手助けを行う方)が保育園の送迎や子どもの一時預かりなどを有料で行う育児ネットワーク。いずれも、登録を希望する方は3月9日・18日の午前10時～11時30分にあいぽっくで行う説明会に参加を(いずれか1日)。定員各30人(申込順)。参加費無料。事前に社会福祉協議会へ要申込。

■災害ボランティアセンター訓練 3月13日の午後6時30分～8時にあいぽっくで。災害時の避難所について説明するほか、その運営方法や住民の役割について情報交換を。定員40人(申込順)。事前に社会福祉協議会へ要申込。